

家庭でもできる身近な取組の実践と発信

北見工業大学 KITECO(環境保全学生委員会)
代表：竹本 日愛

●目的

今日、食料・農林水産業は自然環境の変化や少子高齢化等に起因する数々の課題を抱えており、将来にわたる食料の安定供給を図るための対策が求められている。その対策としてみどりの食料システム戦略が策定され、現在実現に向けた政策が推進されている。

一方で、日本の食品ロス発生量は今年間約472万トンにものぼっている¹⁾など、現時点ではまだ目標の実現とは程遠く、実現のためには農林水産業従事者だけでなく一般市民の方の協力が不可欠である。

そこで、私たちKITECOでは、食料のサプライチェーンの好循環を実現させるべく、「家庭でもできる身近な取組」をテーマとし、調達・生産関連と消費関連の2項目に大別したうえで、各項目における環境に配慮した取組を実践しそれを発信することとした。

地域の農家の方へヒアリング

肥料の価格は約2倍になったし、後継者はいないし…
業界全体がかなり厳しい情勢です。
農家やめようかな…



●取組内容・結果

調達・生産 コンポストとそれを活用した野菜作り

北見工業大学生協の食堂では、日々多くの廃棄食品が出てしまっている。そこで、食堂で出た廃棄食品を有効活用し、「廃棄食品の堆肥化→農作に利用→食に繋げる」の資源の循環を実現させることを目的に、以下の取組を行った。

➤ コンポスト作成

食堂から廃棄食品を継続的に受け取り、発泡スチロール箱等を用いて作成したコンポストに投入し当番制で毎日かき混ぜた(図1)。なお、コンポストは複数個用意し食品の種類ごとに仕分けしたうえで、それぞれの土の温度、酸度、水分量を計測することで土の状態を定量化した(図2)。

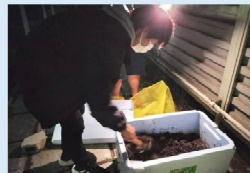


図1 コンポストのかき混ぜ作業

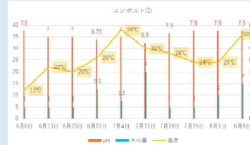


図2 各種指標の定量化例

➤ コンポストを活用した野菜作り

作成したコンポストを用いて野菜の栽培を行った(図3)。また、同時に市販の土でも同種の野菜を育て、その差を比較した。収穫した野菜は学生に料理として振る舞うことで、学生に対して取組成果を発信した。

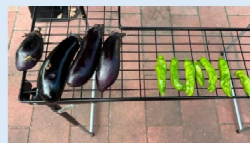


図3 栽培した野菜(一部)

【成果】

- ・計71kgの廃棄食品を堆肥として有効利用することができた。
- ・質の高い土を作るための対照実験、データ収集、定量化を通し、コンポスト作成の有効性を示した。
- ・学内における食料資源循環を実現させた。
- ・学生への取組成果の発信により、学生が持続可能な食物の生産について考えるきっかけを作った。

消費

作って学べる食品ロス対策

食料戦略における消費分野は、特に一般市民個人の意識の変化に委ねられる部分が大い。そこで、一般市民の方へ「作って学ぶ」プロセスを通じて行動変容を促すことを目的に、以下の取組を行った。

➤ エコクッキング

日々の料理の中にも個人が出来る取組があると考え、エコに繋がる料理のレシピを考案した。例えば、普段捨てる部分(果物の皮など)を活用したものや、調理過程で消費電力が少ないものなどが挙げられる。また、クックパッド(料理レシピサイト)への投稿を通じて、広くレシピの発信を行った(図4)。



図4 考案したレシピの投稿

➤ 廃油でキャンドル作り

料理で出た廃油の有効活用を通して、楽しみながら食品ロスを削減できる「廃油キャンドル」を考案した。また、地域の子も達が集まる大学祭や高校生が集まるオープンキャンパスにて体験会を実施し、取組を発信した(図5)。



図5 地域の子も達向けの廃油でキャンドル作り体験

【成果】

- ・「捨てるはずだった」物の有効利用ができた。
- ・食料戦略の実現に向けて家庭でもできる取組があることを広めることで、一般市民の方へ行動変容を促した。
- ・子どもや高校生など未来を担う世代へ取組を発信することで、自分達の将来のためにも食品ロスについて考える必要があるということを楽しみながら訴えることができた。

●まとめ

私たちKITECOは、「家庭でもできる身近な取組」を実践し、広く発信を行った。私たちは、個人ができる小さな取組の積み重ねが食料・農林水産業を救うと考えている。特に私たちの住む北海道は、食料自給率が全国1位であり、農林水産業を支えまた農林水産業に支えられている地域である。だからこそ、まずは北海道に住む私たちがみどりの食料システム戦略の実現に向け率先して行動していくべきである。それを実現するため、私たちKITECOは今後もこの北海道の地で大学生の立場から行動変容を訴えかける活動に取り組み続ける。

参考文献

- 1) 環境省：我が国の食品ロスの発生量の推計値(令和4年度)、
https://www.env.go.jp/press/press_03332.html (最終アクセス：2024年10月)



私たちは、北見工業大学の有志の学生による「環境保全」をテーマとしたサークルです。